

今後の方向性(提言)

- 【提言1】 ひきこもりへの理解促進のための都民や関係者への普及啓発
- 【提言2】 相談窓口の明確化と当事者・家族に適切に届く効果的な情報発信

令和4年度実施予定

【広告事業の展開】～ひきこもりに関する社会的な理解促進に向けた取組

- 当事者・家族を含む一般都民を対象に、広告を実施する
 (補正予算での実施) 新聞広告、インターネット広告の実施
 (当初予算での実施) 交通広告、コンビニ広告、屋内広告等の実施を検討

【家族向けパンフレット】 (令和4年度新規)

- 家族会と連携し、家族の心情に寄り添い、家族がひきこもりへの理解を深められる内容の家族向けパンフレットを新たに作成し、都民等に周知を図る

【事業周知リーフレット】

- 都のひきこもり相談窓口(ひきこもりサポートネット)や都の「ひきこもり等の若者支援プログラム」に沿って支援を行っているNPO法人等の紹介、区市町村の相談窓口一覧、その他相談窓口を掲載したリーフレットを作成・更新し、医師会等関係機関と連携して、都民等に周知を図る



事業周知リーフレット

【講演会】

- 東京都公式動画チャンネル「東京動画」におけるオンライン配信を行う。

令和3年度の講演内容：「『ひきこもりを生きる』を支援する～本人も家族も孤立しないために」
 (配信期間：令和3年10月6日(水)～令和4年2月28日(月))

【東京都ひきこもりサポートネットホームページ】

- 広く当事者、家族、支援者を対象に、分かりやすいレイアウトとコンテンツの充実等により、安心してご相談いただけるよう工夫したホームページへリニューアルする。